

MG-ADL スケール

8項目の質問表

記入日
/ /
患者氏名
担当医名

- 「MG-ADLスケール」は、MGの重症度を評価するための質問表です。
- 8項目の質問について、それぞれ0～3点(合計0～24点)で評価し、点数の合計が高いほど、日常生活へのMGによる症状の影響が大きく、重症と判断されます。また、MG-ADLスケールの合計2点以上の改善は、臨床的に意義のある改善とみなされます¹⁾。

1) Muppidi S, et al. Muscle Nerve. 2011; 44: 727-731.

MG症状について最も当てはまる状態の点数を記入してください。

	0点	1点	2点	3点	点数 記入欄
会話	正常	間欠的に不明瞭 もしくは鼻声	常に不明瞭 もしくは鼻声、しかし 聞いて理解可能	聞いて理解する のが困難	
咀嚼	正常	固形物で疲労	柔らかい食物で疲労	経管栄養	
嚥下	正常	まれにむせる	頻回にむせるため、 食事の変更が必要	経管栄養	
呼吸	正常	体動時の息切れ	安静時の息切れ	人工呼吸を要する	
歯磨き・ 箸使用の障害	なし	努力を要するが 休息を要しない	休息を要する	できない	
椅子からの 立ち上がり障害	なし	軽度、 時々腕を使う	中等度、 常に腕を使う	高度、 介助を要する	
複視	なし	あるが 毎日ではない	毎日起こるが 持続的でない	常にある	
眼瞼下垂	なし	あるが 毎日ではない	毎日起こるが 持続的でない	常にある	
				合計(0～24点)	

(Wolfe GI, et al. Neurology. 1999; 52: 1487-1489. より作成)

「重症筋無力症／ランバート・イートン筋無力症候群診療ガイドライン作成委員会編:重症筋無力症／ランバート・イートン筋無力症候群診療ガイドライン2022 p.26 2022, 南江堂」より許諾を得て転載